

平成 23 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
代表者名 代表取締役社長 川崎 正己
(コード番号：8060 東証第一部)
問合せ先 コミュニケーション本部長 松阪 喜幸
(TEL. 03-6719-9095)

開示セグメントの変更に関するお知らせ

当社グループは、平成 23 年 12 月期より、開示セグメントを下記のとおり変更いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

従来、当社グループの開示セグメントは、取扱商品の種類、販売市場の類似性を考慮し決定しておりましたが、平成 20 年 3 月に企業会計基準委員会 (ASBJ) より公表された「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」において求められている「マネジメントアプローチ」の考え方に基づき、経営者の業績管理区分である会社・組織をベースとした開示セグメントに変更いたします。

2. 新セグメントの概要

セグメント	主な会社・組織	
ビジネスソリューション	キヤノンマーケティングジャパン (株) ビジネスソリューションカンパニー キヤノンシステムアンドサポート (株) キヤノンプリントスクエア (株)	(主な商品・サービス) MFP、ページプリンター、 LFP-IJP、保守サービス
ITソリューション	キヤノンマーケティングジャパン (株) ITプロダクト推進本部 キヤノンMJアイティグループホールディングス (株) 連結キヤノンITソリューションズ 連結キヤノンソフトウェア エディフィストラaining (株)	(主な商品・サービス) SIサービス事業、ソリューション事業、基盤・アウトソーシング事業、ITプロダクト
コンシューマイメージング	キヤノンマーケティングジャパン (株) コンシューマイメージングカンパニー キヤノンフィールドアシスト (株) キヤノンカスタマーサポート (株)	(主な商品・サービス) デジタル一眼レフカメラ、コンパクトデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、インクジェットプリンター
産業機器	キヤノンマーケティングジャパン (株) 産業機器販売事業部	(主な商品・サービス) 産業機器、医療機器、放送機器
消去又は全社	連結キヤノンビジネスサポート セグメント間取引※	

※セグメント間取引を消去又は全社セグメントで消去します。

(参考) 旧セグメント

セグメント	主な商品・サービス
ビジネスソリューション	MFP、ページプリンター、LFP-IJP、保守サービス、SIサービス事業、ソリューション事業、基盤・アウトソーシング事業、ITプロダクト
コンシューマ機器	デジタル一眼レフカメラ、コンパクトデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、インクジェットプリンター
産業機器	産業機器、医療機器、放送機器

3. 新セグメントによる平成22年12月期のセグメント別売上高/営業損益

単位：百万円

	ビジネスソリューション	ITソリューション	コンシューマイメージング	産業機器	消去又は全社	合計
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	342,458	104,280	213,836	13,354	231	674,159
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	28,970	—	—	△28,970	—
計	342,458	133,250	213,836	13,354	△28,739	674,159
営業利益又は営業損失	2,281	△3,697	9,834	△245	△437	7,735

※平成22年12月期の新セグメントによる実績値は、比較のために組み替えた参考値であり、監査法人による監査を受けておりません。

(参考) 旧セグメントによる平成22年12月期のセグメント別売上高/営業損益

単位：百万円

	ビジネスソリューション	コンシューマ機器	産業機器	消去又は全社	合計
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	440,732	219,780	13,646	—	674,159
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	440,732	219,780	13,646	—	674,159
営業利益又は営業損失	△866	9,183	△580	—	7,735

以上